

WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日

第1・第2 夜間・18:30～

第3・第4・第5 昼間・12:30～

例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10

事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23

サイバーリンク N-4ビル 2階

TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200

http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：溝落和作 幹事：籠田 弘

クラブ会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏



週報
通算2002回
42号



ハナボウラン ラン科 多年草

本日の例会

6月6日(水)

18:30～華月殿

ロータリーソング：君が代・われ等和歌山東南ロータリー

行事：新入会員卓話

赤井 誠会員・楠見珠緒会員

次回の例会

6月13日(水)

18:30～華月殿

行事：年間活動報告①

各委員会

先週例会報告

ゲスト：和歌山盲学校 校長 平岡 巧様・平松智子様

会場監督 中谷敬子

会長報告

溝落 和作 会長

- 和歌山盲学校の平岡校長先生、平松部長、ようこそおいでくださいました。後程、卓話をよろしくお願いします。展示ケース贈呈式の写真をいただきましたので、回覧します。
- 先週例会終了後、籠田幹事と二人で寒川会員の自宅にお伺いをして、親睦家族旅行のお土産とクラブよりのお見舞金を渡してまいりました。現在、抗がん剤治療を続けているそうで、今しばらく時間がかかるとの話でした。富士山にいけないのが残念ですと言っていました。早期に全快して、クラブ出席をしていただけることを祈ります。
- 昨日、市川会員と二人で駒阪会員の状況を伺いに行っていました。あまり良い変化の兆しがありませんでした。奥様にクラブよりのお見舞いを渡して帰ってまいりましたが、少しでも良い方向に向かってくれますことを祈ります。



幹事報告

籠田 弘 幹事

「第10回 理事会(持ち回り理事会)報告」

1) 向陽高校 新入生2名の奨学金支給について

東南育英会委員会で決定。理事会で承認。

6月から奨学金の支給を開始する。

2) 入院中の駒阪会員の処遇について

病状の方向が未確定な現状で、会員としての進退を云々するのは如何なものか、次年度半年間位は会費を徴収せずに様子をうかがってはどうか、その時点で止むを得ず退会の意向であれば6月末日に遡及して受理してはとの意見で一致する。

3) 入会候補について

西口昭一氏(69歳) 興栄株式会社 会長

職業分類：プラスチック加工及び販売

推薦者：釜中・保田・中板

今期に認定 7月より例会出席をお願いする。

1) カンボジア通信(赤尾女史)から各テーブルに置いています。ご覧下さい。

2) 「JC NEWS」が来ています、回覧いたしますので、ご覧下さい。



ニコニコ箱

山田さち子 会計

溝落君・平岡校長、平松部長、ようこそおこしくできました。

籠田君・平岡先生、よろしくお願い致します。

中板君・東南会ゴルフ、2位でした。

有本君・1661回出席を表彰していただき有難うございました。

保田君・2000回記念例会で1000回以上在籍で表彰をして頂きました。又IM3組親睦ゴルフ大会で15位になりました。ありがとうございます。

神谷君・第7回東南会ゴルフで優勝！うれしいです。

神谷君・IM3組ゴルフ大会でBB賞。ラッキー！

山本君・2000回在籍で表彰して頂きました。

中岡君・竹中さん、松浦さん、先日はありがとうございました。

和田(薫)君・東南会コンペ、皆様お疲れ様でした。堀君・平岡校長先生、本日はよろしくお願い致します。

中曾君・金曜日はありがとうございました。

ご本人お誕生日お祝い・内藤君。

ご結婚記念日お祝い・山口君。



	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計	2,246,316	318,000	470,800	11,000	5,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名 5/30	32名 64.00%
出席免除会員	2名 5/11	40名 78.43%

《委員会報告》 古川多津美親睦委員長

5月11日(金)・12日(土)の2000回例会・親睦家族旅行には大勢の会員の皆様、ご家族の皆様にご参加頂きましてありがとうございました。

6月29日(金)18:30～は最終親睦夜間例会です。今期最後の例会ですので、大勢の会員の皆様のご参加、お待ちしております。



《ロータリアンの守るべき道》

⑩ 例会所要時間の60%出席すれば一応出席とみなされますが、よほどの理由がない限り、閉会の点鐘まで出席しましょう。

外部卓話「和歌山盲学校について」和歌山県立和歌山盲学校 校長 平岡 巧様 進路指導部長 平松 智子様



1 本校について

視覚に障害のある幼児児童生徒が、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育課程で学んでいます。高等部には、普通科と専攻科があり、専攻科では、あんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家資格取得を目指しています。

また、視覚障害教育のセンター的役割を果たすべく、一般の幼稚園や小中高等学校に在籍する子供たちやその保護者、学校の教員、視覚障害のある大人の方々への相談支援活動も行っています。視覚障害は、大きく分けて全盲と弱視があり、それぞれの見え方に適した文字（点字・普通文字・拡大文字）や、支援機器を使って学習しています。



点字タイプライター



・携帯用点字端末
点字で入力し、ピンディスプレイで点字を読むことができ、データで保存



・拡大読書器
画面下のカメラの映像を拡大して映す



・単眼鏡
遠くを見るときに使う

2 進路について

進路として、大学や専攻科（理療科・保健理療科）への進学や、一般の事業所や福祉的な事業所への就労、施術所勤務や開業などがあります。

実際の職場で見学や実習を実施し、能力を発揮できる職場への就労につながるよう支援していきます。視覚障害生徒の職域の拡大が盲学校の課題でもありますので、職場見学や実習、インターシップの実施にご理解ご協力いただき、「社会に出て働きたい」という生徒たちを応援して下さいようお願いいたします。



現場での実習



卒業生の職場

「第 2000 回例会・親睦家族旅行③」 12 日(土) 瀬峡めぐり



